

財務諸表等

平成25年度
(第2期事業年度)

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

地方独立行政法人府中市病院機構

目 次

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
損失の処理に関する書類	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7

附属明細書

(1) 固定資産の取得、処分及び減価償却費の明細	10
(2) たな卸資産の明細	11
(3) 長期借入金の明細	12
(4) 移行前地方債償還債務の明細	13
(5) 引当金の明細	14
(6) 資本金及び資本剰余金の明細	15
(7) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	16
(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	17
(9) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細	18
(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細	19
(11) 役員及び職員の給与の明細	20
(12) 開示すべきセグメント情報	21
(13) 医業費用及び一般管理費の明細	22
(14) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	23

添付資料

決算報告書	(別冊)
事業報告書	(別冊)
監査報告書	(別冊)

財務諸表

貸借対照表

(平成26年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		104,930,000	
建物	1,649,980,000		
減価償却累計額	▲ 150,791,300	1,499,188,700	
構築物	21,690,000		
減価償却累計額	▲ 7,555,439	14,134,561	
車両運搬具	5,831,554		
減価償却累計額	▲ 3,684,445	2,147,109	
工具器具備品	370,993,375		
減価償却累計額	▲ 140,226,215	230,767,160	
有形固定資産合計		1,851,167,530	
2 無形固定資産			
ソフトウェア		6,847,740	
無形固定資産合計		6,847,740	
3 投資その他の資産			
長期前払費用		116,450	
長期前払消費税		6,801,666	
その他投資資産		1,099,000	
投資その他の資産合計		8,017,116	
固定資産合計			1,866,032,386
II 流動資産			
現金及び預金		187,896,076	
医業未収金	448,190,600		
貸倒引当金	▲ 4,890,808	443,299,792	
未収金		7,934,172	
医薬品		13,544,234	
診療材料		10,931,653	
その他流動資産		6,702,579	
流動資産合計			670,308,506
資産合計			2,536,340,892

貸借対照表

(平成26年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債				
資産見返補助金	4,217,621			
資産見返物品受贈額	14,965,045	19,182,666		
長期借入金		199,700,000		
移行前地方債償還債務		1,481,975,717		
引当金				
退職給付引当金		341,586,205		
固定負債合計			2,042,444,588	
II 流動負債				
1年前返済予定移行前地方債償還債務		121,145,225		
未払金		285,428,966		
預り金		21,148,627		
引当金				
賞与引当金		114,997,072		
その他		770		
流動負債合計			542,720,660	
負債合計				2,585,165,248
純資産の部				
I 資本金				
設立団体出資金		14,466,680		
資本金合計			14,466,680	
II 利益剰余金				
積立金		43,489,428		
当期未処理損失(▲)		▲ 106,780,464		
(うち当期総損失(▲))		▲ 106,780,464		
利益剰余金合計			▲ 63,291,036	
純資産合計				▲ 48,824,356
負債純資産合計				2,536,340,892

損益計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	1,747,129,802		
外来収益	1,206,646,198		
その他医業収益	89,324,137	3,043,100,137	
運営負担金収益		290,233,000	
運営費交付金収益		128,156,000	
補助金等収益		10,584,680	
資産見返補助金戻入		207,379	
資産見返物品受贈額戻入		21,479,696	
営業収益合計			3,493,760,892
営業費用			
医業費用			
給与費	2,225,580,463		
材料費	536,712,211		
経費	654,521,455		
減価償却費	169,286,311		
資産減耗費	734,643		
研究研修費	8,087,637	3,594,922,720	
一般管理費			
給与費	5,761,120	5,761,120	
営業費用合計			3,600,683,840
営業損失(▲)			▲ 106,922,948
営業外収益			
運営費交付金収益		21,611,000	
財務収益			
受取利息	16,392	16,392	
その他営業外収益		14,106,329	
営業外収益合計			35,733,721
営業外費用			
財務費用			
移行前地方債利息	32,586,117		
長期借入金利息	335,559	32,921,676	
その他営業外費用		2,696,491	
営業外費用合計			35,618,167
経常損失(▲)			▲ 106,807,394
臨時利益			
貸倒引当金戻入益		26,930	26,930
当期純損失(▲)			▲ 106,780,464
当期総損失(▲)			▲ 106,780,464

キャッシュ・フロー計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	材料の購入による支出	▲ 1,210,328,914
	人件費支出	▲ 2,222,266,067
	医業収入	3,062,845,517
	運営費負担金収入	290,233,000
	運営費交付金収入	149,767,000
	補助金等収入	10,584,680
	その他	13,803,062
	小 計	94,638,278
	利息の受取額	16,392
	利息の支払額	▲ 32,921,676
	業務活動によるキャッシュ・フロー	61,732,994
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	定期預金の払戻しによる収入	10,128,728
	有形固定資産の取得による支出	▲ 83,760,116
	無形固定資産の取得による支出	▲ 1,860,000
	補助金等収入	4,425,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 71,066,388
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	長期借入れによる収入	76,200,000
	移行前地方債償還債務の償還による支出	▲ 131,298,046
	財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 55,098,046
IV	資金増加額	▲ 64,431,440
V	資金期首残高	252,327,516
VI	資金期末残高	187,896,076

損失の処理に関する書類

(平成26年6月24日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
I 当期末処理損失		▲ 106,780,464
当期総損失	▲ 106,780,464	
II 損失処理額		
積立金取崩額	43,489,428	43,489,428
	<hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/>	<hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/>
III 次期繰越欠損金		▲ 63,291,036
		<hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/>

行政サービス実施コスト計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1)損益計算書上の費用			
医業費用	3,594,922,720		
一般管理費	5,761,120		
財務費用	32,921,676		
その他営業外費用	2,696,491	3,636,302,007	
(2)(控除)自己収入等			
医業収益	▲ 3,043,100,137		
財務収益	▲ 16,392		
その他営業外収益	▲ 14,106,329		
貸倒引当金戻入益	▲ 26,930	▲ 3,057,249,788	
業務費用合計			579,052,219
II 引当外退職給付増加見積額			▲ 288,028
III 機会費用			
地方公共団体出資の機会費用	92,587		92,587
IV 行政サービス実施コスト			578,856,778

注記事項

I 重要な会計方針

1. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しています。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	4～38年
構築物	3～38年
車両運搬具	2～4年
工具器具備品	2～20年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しています。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品・診療材料の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法に基づく低価法によっています。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

医業未収金（患者負担分）の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率（回収不能率）により、回収不能見込額を計上しています。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職手当の自己都合要支給額に基づき計上しています。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しています。

(3) 賞与引当金

役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しています。

4. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準

期間進行基準を採用しています。ただし、建設改良に要する経費（移行前地方債元金利息償還金）等については費用進行基準を採用しています。

5. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 出資の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成26年3月末における利回りを参考に0.640%で計算しています。

6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。なお、固定資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は長期前払消費税等（投資その他の資産の「その他投資資産」）に計上し、5年間で均等償却を行っています。

表示方法の変更

（貸借対照表関係）

前事業年度において、「投資その他の資産」の「その他投資資産」に含めていた「長期前払消費税」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記しています。前事業年度において「その他投資資産」に表示していた金額は4,801,524円です。

II 貸借対照表関係

府中市からの派遣職員に係る引当外退職給付見積額 82,558,409円

III キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	187,896,076	円
資金期末残高	187,896,076	

2. 重要な非資金取引

該当ありません。

IV 金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については安全性の高い金融資産で運用し、また、資金調達については、短期的な資金を銀行等金融機関からの借入により、長期的な資金を設立団体である府中市からの借入により調達してすることとしています。なお、設立に当たり、設立時において未償還であった企業債相当額を移行前地方債償還債務として計上しています。

資金の用途については、運転資金（主として短期）並びに事業投資資金及び移行前地方債償還債務弁済資金（長期）を想定しています。

当法人が保有する金融資産は主として診療報酬債権であり、このうち患者に対する医業未収金に係る信用リスクに対しては、内部のマニュアルに沿って回収管理を行うことで対応しています。

2. 金融商品の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：円）

	貸借対照表計上額 （※1）	時価（※1）	差額
(1) 現金及び預金	187,896,076	187,896,076	—
(2) 医業未収金（※2）	443,299,792	443,299,792	—
(3) 移行前地方債償還債務（※3）	(1,603,120,942)	(1,671,211,881)	68,090,939

(4)長期借入金	(199,700,000)	(199,572,139)	△127,861
(5)未払金	(285,428,966)	(285,428,966)	—

(※1) 負債に計上されているものについては()で示しています。

(※2) 医業未収金に対して計上している貸倒引当金を控除しています。

(※3) 一年以内返済予定移行前地方債償還債務を含んでいます。

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

負債

(3)移行前地方債償還債務、(4)長期借入金

これらの時価は、元利金の合計額を、新規に同様の発行を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しています。

(5)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

V 賃貸等不動産に関する注記

当法人は医師用住宅を保有していますが、重要性が乏しいため、記載を省略しています。

VI 固定資産の減損の処理方法

1. 固定資産のグルーピングの方法

当法人においては、2病院をそれぞれ個別の固定資産グループとしています。また、重要な遊休資産及び廃止の意思決定を行った資産については、固定資産グループから独立した資産として取扱うこととしています。

2. 共用資産の概要

重要な共用資産はないため、記載を省略しています。

VII 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

VIII 重要な後発事象

該当事項はありません。

財務諸表

(附属明細書)

(1) 固定資産の取得、処分及び減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引当期末残高	摘要	
					当期償却額	当期償却額			
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	1,649,980,000	0	0	1,649,980,000	150,791,300	75,395,650	1,499,188,700	
	構築物	21,690,000	0	0	21,690,000	7,555,439	3,777,718	14,134,561	
	車両運搬具	3,922,868	1,908,686	0	5,831,554	3,684,445	2,028,030	2,147,109	
	工具器具備品	292,325,747	81,301,700	2,634,072	370,993,375	140,226,215	79,501,929	230,767,160	
	計	1,967,918,615	83,210,386	2,634,072	2,048,494,929	302,257,399	160,703,327	1,746,237,530	
非償却資産	104,930,000	0	0	104,930,000	0	0	104,930,000		
有形固定資産合計	104,930,000	0	0	104,930,000	0	0	104,930,000		
有形固定資産	建物	1,649,980,000	0	0	1,649,980,000	150,791,300	75,395,650	1,499,188,700	
	構築物	21,690,000	0	0	21,690,000	7,555,439	3,777,718	14,134,561	
	車両運搬具	3,922,868	1,908,686	0	5,831,554	3,684,445	2,028,030	2,147,109	
	工具器具備品	292,325,747	81,301,700	2,634,072	370,993,375	140,226,215	79,501,929	230,767,160	
	計	2,072,848,615	83,210,386	2,634,072	2,153,424,929	302,257,399	160,703,327	1,851,167,530	
無形固定資産	23,192,708	480,000	0	23,672,708	16,824,968	8,582,984	6,847,740		
投資その他の資産	102,940	25,290	11,780	116,450	0	0	116,450		
長期前払費用		8,802,180	2,000,514	6,801,666	0	0	6,801,666		
長期前払消費税		0	4,801,524	1,099,000	0	0	1,099,000		
その他の投資資産	5,900,524	0	0	5,900,524	0	0	5,900,524		
計	6,003,464	8,827,470	6,813,818	8,017,116	0	0	8,017,116		

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	12,595,196	291,294,858	0	290,345,820	0	13,544,234	
診療材料	10,871,155	215,841,600	0	215,781,102	0	10,931,653	
計	23,466,351	507,136,458	0	506,126,922	0	24,475,887	

(3) 長期借入金の明細

(単位:円)

銘柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
平成24年度 医療機器整備借入金	30,900,000	—	—	30,900,000	0.30%	平成31年9月	
平成24年度 医療機器整備借入金	58,500,000	—	—	58,500,000	0.30%	平成31年9月	
平成24年度 医療機器整備借入金	34,100,000	—	—	34,100,000	0.20%	平成32年3月	
平成25年度 医療機器整備借入金	—	49,400,000	—	49,400,000	0.30%	平成32年9月	
平成25年度 医療機器整備借入金	—	6,600,000	—	6,600,000	0.30%	平成33年3月	
平成25年度 医療機器整備借入金	—	20,200,000	—	20,200,000	0.30%	平成33年3月	
計	123,500,000	76,200,000	—	199,700,000			

(4) 移行前地方債償還債務の明細

(単位:円)

銘柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
資金運用部資金	4,617,851		2,264,906	2,352,945	3.85%	平成27年3月	
資金運用部資金	13,516,188		800,770	12,715,418	2.80%	平成39年3月	
資金運用部資金	443,120,102		25,605,123	417,514,979	2.00%	平成40年3月	
資金運用部資金	849,250,177		45,170,927	804,079,250	2.10%	平成41年3月	
財政融資資金	197,754,259		9,393,519	188,360,740	1.80%	平成43年3月	
簡易生命保険積立金	31,895,266		2,080,066	29,815,200	2.00%	平成38年9月	
財政融資資金	86,434,496		3,848,243	82,586,253	1.20%	平成45年3月	
財政融資資金	2,251,193		739,953	1,511,240	1.40%	平成28年3月	
財政融資資金	12,007,152		12,007,152	0	0.60%	平成26年3月	
庄原農協	108,000		108,000	0	1.57%	平成26年3月	
財政融資資金	13,855,145		6,913,731	6,941,414	0.40%	平成27年3月	
財政融資資金	6,000,000		726,641	5,273,359	0.90%	平成33年3月	
財政融資資金	38,270,159		12,693,069	25,577,090	0.50%	平成28年3月	
両備信用組合	1,650,000		550,000	1,100,000	1.00%	平成28年3月	
財政融資資金	23,200,000		5,773,946	17,426,054	0.30%	平成29年3月	
広島銀行	10,489,000		2,622,000	7,867,000	0.70%	平成29年3月	
計	1,734,418,988	0	131,298,046	1,603,120,942			

(5) 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	338,885,171	68,209,454	65,508,420	0	341,586,205	
賞与引当金	116,766,879	114,997,072	116,766,879	0	114,997,072	
貸倒引当金	4,917,738	4,890,808	0	4,917,738	4,890,808	
計	460,569,788	188,097,334	182,275,299	4,917,738	461,474,085	

(注) 貸倒引当金の当期減少額のその他には、洗替えによる戻入額を記載しています。

(6) 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金					
設立団体出資金	14,466,680	0	0	14,466,680	
計	14,466,680	0	0	14,466,680	

(7)積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

7-1 積立金及び目的積立金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
法第40条第1項積立金	0	43,489,428	0	43,489,428	

(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

① 運営費負担金債務

(単位: 円)

交付年度	期首残高	負担金当期負担額	当期振替額				期末残高	摘要
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計		
平成25年度	—	290,233,000	290,233,000	—	—	—	—	
合計	—	290,233,000	290,233,000	—	—	—	—	

② 運営費負担金収益

(単位: 円)

業務等区分	平成25年度負担分	合計
期間進行基準	290,233,000	290,233,000

(9) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細

① 運営費交付金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高	摘要
			運営費交付金 収益	資産見返:運営費 交付金	資本剰余金	小計		
平成25年度	0	149,767,000	149,767,000	0	0	149,767,000	0	
合計	0	149,767,000	149,767,000	0	0	149,767,000	0	

② 運営費交付金収益

(単位:円)

業務等区分	平成25年度支給分	合計
期間進行基準	128,156,000	128,156,000
費用進行基準	21,611,000	21,611,000
合計	149,767,000	149,767,000

(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細

10-1 補助金等の明細

(単位:円)

区分	当期交付額	左の会計処理内容					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
平成25年度病院群輪番制病院運営事業補助金	10,442,880	—	—	—	—	10,442,880	
平成25年度予一ムケア推進モデル事業助成金	141,800	—	—	—	—	141,800	
平成25年度広島県地域医療再生事業補助金	1,800,000	—	1,800,000	—	—	—	
平成25年度機器購入にかかる国保調整交付金	2,625,000	—	2,625,000	—	—	—	
合計	15,009,680	—	4,425,000	—	—	10,584,680	

(11) 役員及び職員の給与の明細

区分	報酬又は給与		退職給与	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役員	円 5,761,120 (961,120)	人 5 (3)	円 0 (0)	人 0 (0)
職員	1,504,855,375 (332,595,213)	233 (108)	65,508,420 (0)	7 (0)
合計	1,510,616,495 (333,556,333)	238 (111)	65,508,420 (0)	7 (0)

(注1) 支給額及び支給人数

非常勤役員については、外数として()内に記載しています。

また、支給人数については平均支給人数で記載しています。

(注2) 役員報酬基準及び職員給与基準の概要

役員報酬については、「地方独立行政法人府中市病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員については、「地方独立行政法人府中市病院機構職員給与規程」及び

「地方独立行政法人府中市病院機構非常勤給与規程」に基づき支給しています。

(注3) 法定福利費

上記明細には法定福利費は含めていません。

(12)開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分	府中市民病院	府中北市民病院	計	調整額	合計
営業収益	2,095,203,493	980,168,399	3,075,371,892	418,389,000	3,493,760,892
医業収益	2,080,601,479	962,498,658	3,043,100,137	0	3,043,100,137
運営費負担金収益	0	0	0	290,233,000	290,233,000
運営費交付金収益	0	0	0	128,156,000	128,156,000
資産見返負債戻入	4,017,334	17,669,741	21,687,075	0	21,687,075
その他営業収益	10,584,680	0	10,584,680	0	10,584,680
営業費用	2,340,950,315	1,259,763,595	3,600,713,910	▲ 30,070	3,600,683,840
医業費用	2,335,189,195	1,259,763,595	3,594,952,790	▲ 30,070	3,594,922,720
一般管理費	5,761,120	0	5,761,120	0	5,761,120
営業損益	▲ 245,746,822	▲ 279,595,196	▲ 525,342,018	418,419,070	▲ 106,922,948
営業外収益	9,101,147	5,021,574	14,122,721	21,611,000	35,733,721
運営費交付金収益	0	0	0	21,611,000	21,611,000
その他営業外収益	9,101,147	5,021,574	14,122,721	0	14,122,721
営業外費用	1,134,817	34,483,350	35,618,167	0	35,618,167
財務費用	282,817	32,638,859	32,921,676	0	32,921,676
その他営業外費用	852,000	1,844,491	2,696,491	0	2,696,491
経常損益	▲ 237,780,492	▲ 309,056,972	▲ 546,837,464	440,030,070	▲ 106,807,394
総資産	462,192,292	1,886,252,524	2,348,444,816	187,896,076	2,536,340,892
固定資産	110,831,032	1,755,201,354	1,866,032,386	0	1,866,032,386
流動資産	351,361,260	131,051,170	482,412,430	187,896,076	670,308,506

(注1)セグメントの区分については、地方独立行政法人府中市病院機構会計規程に基づき、経理単位(各病院及び法人本部)に区分しています。

ただし、法人本部の費用は府中市民病院に含めています。

(注2)調整額は、主として、2病院一括で交付されている運営費負担金収益及び運営費交付金収益と区分経理が困難な現金及び預金です。

(13) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目		金 額	
医業費用			
給与費			
給料及び手当	1,198,328,330		
賞与	309,410,987		
賃金及び報酬	329,711,271		
退職給付費用	68,209,454		
法定福利費	319,920,421		2,225,580,463
材料費			
薬品費	290,262,784		
診療材料費	215,781,102		
給食材料費	26,160,825		
医療消耗器具備品費	4,507,500		
たな卸資産減耗費	0		536,712,211
経費			
厚生福利費	1,298,051		
旅費及び交通費	2,237,851		
職員被服費	8,060,169		
消耗品費	14,092,937		
消耗備品費	2,203,433		
光熱水費	63,640,647		
燃料費	20,907,265		
印刷製本費	4,038,182		
修繕費	45,611,095		
保険料	5,388,347		
賃借料	40,769,041		
通信運搬費	4,703,669		
広告宣伝費	85,389		
食料費	0		
委託料	276,962,677		
手数料	8,014,558		
諸会費	2,792,638		
会議費	13,899		
交際費	1,618,991		
地代家賃	8,312,604		
負担金	85,041,321		
租税公課	212,300		
控除対象外消費税償却費	2,000,514		
雑費	56,515,877		654,521,455
減価償却費			
建物減価償却費	75,395,650		
構築物減価償却費	3,777,718		
車両運搬具減価償却費	2,028,030		
工具器具備品減価償却費	79,501,929		
無形固定資産減価償却費	8,582,984		169,286,311
資産減耗費			
工具器具備品除却費	734,643		734,643
研究研修費			
図書費	2,097,468		
旅費	4,233,117		
研究雑費	1,757,052		8,087,637
	医業費用合計		3,594,922,720
一般管理費			
給与費			
役員報酬	5,761,120		5,761,120
	一般管理費合計		5,761,120

(14) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(現金及び預金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	摘要
現金	909,483	
普通預金	186,986,593	
合計	187,896,076	

(医業未収金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	摘要
入院未収金	260,794,174	
外来未収金	183,289,174	
その他	4,107,252	
合計	448,190,600	

(未払金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	摘要
給与費	122,966,038	
固定資産購入費	3,641,490	
その他	158,821,438	
合計	285,428,966	

平成25年度 決算報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

地方独立行政法人府中市病院機構

平成25年度 決算報告書

【地方独立行政法人府中市病院機構】

(単位:円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
収入				
営業収益	3,319,326,000	3,478,190,985	158,864,985	
医業収益	2,949,988,000	3,049,217,305	99,229,305	診療単価の増等
運営費負担金	250,233,000	290,233,000	40,000,000	運営費負担金の計上科目組替
運営費交付金収益	108,156,000	128,156,000	20,000,000	運営費交付金の追加交付と計上科目組替
補助金等収益	10,929,000	10,584,680	▲ 344,320	
寄付金収益	20,000	0	▲ 20,000	
営業外収益	35,612,000	36,455,044	843,044	
運営費交付金	21,611,000	21,611,000	0	
その他医業外収益	14,001,000	14,844,044	843,044	
資本収入	67,600,000	80,625,000	13,025,000	
長期借入金	67,600,000	76,200,000	8,600,000	医療機器整備事業費の増
その他資本収入	0	4,425,000	4,425,000	新規補助事業
計	3,422,538,000	3,595,271,029	172,733,029	
支出				
営業費用	3,149,222,000	3,433,443,662	284,221,662	
医業費用	3,143,716,000	3,427,682,542	283,966,542	
給与費	2,055,753,000	2,224,186,829	168,433,829	職員体制確保による増等
材料費	507,854,000	541,185,416	33,331,416	医薬品及び診療材料費の増等
経費	571,116,000	653,818,357	82,702,357	修繕料、負担金の増等
研究研修費	8,993,000	8,491,940	▲ 501,060	
一般管理費	5,506,000	5,761,120	255,120	
営業外費用	35,252,000	35,752,346	500,346	
資本支出	198,899,000	219,172,951	20,273,951	
建設改良費	67,600,000	87,874,905	20,274,905	医療機器整備事業費の増
償還金	131,299,000	131,298,046	▲ 954	
計	3,383,373,000	3,688,368,959	304,995,959	
単年度資金収支(収入-支出)	39,165,000	▲ 93,097,930	▲ 132,262,930	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の相違の概要は以下のとおりです。

- (1) 決算額は消費税等込みの金額です。
- (2) 損益計算書の営業収益に計上されている資産見返負債戻入は、決算額に含んでいません。
- (3) 損益計算書の医業費用に計上されている減価償却費、資産減耗費は、決算額に含んでいません。
- (4) 損益計算書の医業費用(給与費)のうち退職給付引当金は決算額に含めず、退職金支給額を決算額に含めています。
- (5) 損益計算書の臨時損益は、決算額に含んでいません。

平成 25 年度
事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

地方独立行政法人府中市病院機構

目 次

府中市病院機構の概要

1 現況

- (1) 法人名 1
- (2) 法人の所在地 1
- (3) 法人役員 1
- (4) 設置・運営する病院 1
- (5) 職員数 2

2 府中市病院機構の基本的な目標 2

全体的な状況

1 法人としての総括と課題 2

2 大項目ごとの特記事項 3

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に
関する目標を達成するためとるべき措置 3
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため
とるべき措置 3
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 4
- (4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 4

項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に

- 関する目標を達成するためとるべき措置 4

1 提供する医療の内容 4

- (1) 高齢化に対応した医療 4
- (2) 予防医療 4
- (3) 救急医療への対応 5
- (4) 災害医療への協力 5

2 診療機能の確保 6

- (1) 診療科目の整備 6
- (2) 小児救急医療及び分娩の再開 6

3 地域医療連携の推進 6

- (1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行 6

4 医師及び医療従事者の確保 7

- (1) 臨床研修体制の充実 7

(2) 看護系大学などとの連携	7
5 地域住民とともに守る病院づくり	7
(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上	7
(2) 医療安全対策の徹底	7
(3) 市民への積極的な情報提供	8
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	8
1 組織・機構の整備	8
2 職員教育体制の充実	8
3 事務職員の育成	9
4 働きやすい職場環境の整備	9
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	9
1 経営基盤の強化	9
2 収益の確保及び費用の節減	10
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	10
1 病院の建て替えへの対応	10
2 医療機器などの更新	11
第5 予算、収支計画及び資金計画（平成25年度）	11
第6 短期借入金の限度額	14
第7 剰余金の使途	14

地方独立行政法人府中市病院機構事業報告書

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶉飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	横矢 仁	府中北市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ○ 日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 ○ 日本呼吸器学会関連施設 ○ 日本透析医学会教育関連施設 ○ 日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ○ 広島大学病院協力型臨床研修病院 ○ 日本消化器病学会関連施設 ○ 日本整形外科学会専門医研修施設

所在地	府中市鶉飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病床数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	70 床 (一般 35 床・療養 35 床)
診療科目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

(5) 職員数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

内訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	169 人	50 人	219 人
府中北市民病院	74 人	42 人	116 人
法人合計	243 人	92 人	335 人

※職員数は非常勤医師数を除く

2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

全体的な状況

1 法人としての総括と課題

中期目標の 2 年目となる今年度、2 病院の医療機能を維持することは出来ましたが、府中市の繰り入れに依存する法人の財務状況を改善することはできず、大幅な赤字決算となりました。

府中北市民病院では前年度末に内科常勤医師が退職し、後任の常勤医師の招聘が困難な状況にありましたが、広島大学病院、三次中央病院、庄原赤十字病院から医師派遣の支援を得ることで、診療体制を維持することができました。府中北市民病院の将来像については、法人内部で新改革プランの作成に取り組みましたが、具体的な実施には至りませんでした。

収支目標の経常収支比率（経常収益/経常費用）100%以上を達成できず、法人全体では97.1%の赤字決算になりました。収益面の目標に対する達成率では、府中市民病院が外来105.1%、入院104.1%、府中北市民病院が外来96.7%、入院103.4%と、ほぼ目標を達成しました。しかし、費用面では府中市からの繰り入れを除くと、法人全体では給与費比率（給与費/医業収益）は73.1%（前年度比0.4%減）、医業収益比率は84.6%（前年度比2.2%減）、経費比率（経費/医業収益）は21.5%（前年度比2.3%増）で、特に府中市民病院の老朽施設・医療機器の修繕や、JA広島厚生連出向職員から法人職員へ移行するための人員確保に要する費用が増加しました。

職員体制については、府中市民病院は法人職員・JA広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と府中市派遣職員で構成しています。法人スタート時のJA広島厚生連出向職員数は93人（H24.4.1）でしたが、平成25年度は28人（H25.4.1）となり、平成26年度は11人（H26.4.1）になりました。平成26年度は、JA広島厚生連からの人材支援期間の最終年度であり、引き続き、法人の職員体制の確立を図る必要があります。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を、また、府中市民病院には、府中北市民病院から内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携を継続しています。

府中市民病院は、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を、府中北市民病院は、救急告示病院としての職員体制を維持しています。

府中市民病院では、放射線科医師の負担軽減のため、岡山県実施の遠隔画像診断ネットワーク事業に参加し、岡山大学病院放射線科との遠隔画像診断システムを導入しました。（H25.4.1～）

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善を促す組織風土の醸成に努めています。

府中市民病院では、年間を通して各職場における改善の取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を、今年度も開催しました。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

今年度は、府中市から経営安定化ため 4 億 4,000 万円の繰入金がありましたが、赤字決算となったため、中期目標の達成にむけて法人独自の経営改革を早急に実施する必要があります。

府中北市民病院における新改革プランの具体的な実施や、府中市民病院における新病院建築に合わせた病院改革の取組が必要です。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

今年度、府中市民病院の建て替えにかかる設計業務は完了し、平成 26 年度からは建築工事に着手します。

項目別の状況

第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

【法人】府中地区医師会が実施した「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療推進のための一歩を踏み出しました。

【府中】訪問看護ステーションあゆみは、「在宅医療推進拠点整備事業」のサブセンターとして位置づけ、新たな事業に参加しました。

【府中北】地域医療連携室に経験豊富な職員を採用し、地域連携機能の充実を図りました。

機能改革の一つとして、府中市が公募した介護事業に申請し、予定事業者の決定を得ました。H26.8 月に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「ささえ」を開設します。

(2) 予防医療

【法人】市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を実施しました。

また、市の保健課の要請により国保の特定健診・がん検診を追加で受けるなど、積極的に取り組みました。

	健診種別	前年度（人）	25年度（人）
府中市民病院	人間ドック	207	309
	協会健保等	133	500
	特定健診	127	156
	がん検診	969	964
府中北市民病院	人間ドック	89	85
	特定健診	200	201
	がん検診	574	505

【府中】放射線科に女性の技師を採用し、マンモグラフィー検診を受検する女性への配慮を行いました。

(3) 救急医療への対応

【法人】府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。

府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し府中地域の当番医減少を補完、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。

		前年度（人）	25年度（人）
府中市民病院	救急搬送患者数	311	269
	時間外患者数	4,439	4,310
	入院患者数	511	515
府中北市民病院	救急搬送患者数	175	166
	時間外患者数	1,097	926
	入院患者数	141	176

また、外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を継続しています。

緊急手術は、今年度41件（前年度28件）行いました。また、法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度23件（昨年度17件）になりました。

(4) 災害医療への協力

【法人】今年度は、行政からの要請はありませんでした。

【府中】今年度は、市から防災訓練等の要請はありませんでした。

病院独自の取組として、今年度初めて府中市民病院 I C L S コース研修会（患者救命率向上のための実技研修）を開催し、12名の看護師が参加しました。

【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しました。

2 診療機能の確保

(1) 診療科目の整備

【法人】今年度は、府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合は開催されませんでした。多田理事長が府中地区医師会の理事として、地域の医師との情報共有を図っており、今後も府中地域の医療提供体制について協議します。

【府中】H26.4月から月2回（第2.4金曜日）、福山市民病院から循環器内科の診療支援を受けることが決定しました。

【府中北】H26年度から北部地域移動診療車運行協議会に参加し、受診困難地域への移動診療を実施するため、関係者との協議を行いました。

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

【法人】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。

現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。

		前年度	25年度
府中市民病院	外来患者数（人）	2,597	2,371
	子宮がん検診（件）	431	288
府中北市民病院	外来患者数（人）	603	564
	子宮がん検診（件）	64	85

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

【法人】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、5つのサブセンターのうちの一つを、府中市民病院の訪問看護ステーションが担いました。

【府中】 【府中北】医療機関・施設の職員による地域ケア会議を月1回開催

しています。

【府中】新病院の設計に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の包括支援センター）の連携を推進するため、医療・介護・福祉・生活支援のいずれの相談にも対応できる総合的相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設けました。

4 医師及び医療従事者の確保

(1) 臨床研修体制の充実

【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ2013」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。

今年度は、寺岡記念病院に来た学生（岡大）の研修プログラムに、府中市民病院が半日盛り込まれました。

【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。

（実績 研修医2名・学生3名）

(2) 看護系大学などとの連携

【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。

また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。

5 地域住民とともに守る病院づくり

(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

【府中】新病院の設計に、健康で長生きするための栄養学的情報の発信を目的とした、だれでも利用できるレストランを設けました。

【府中北】外来掲示板に、インフルエンザ予防など、その時期に合った情報提供を行いました。

【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を行いました。総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握しています。

【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図りました。

(2) 医療安全対策の徹底

【府中・府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。

【府中・府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。

(3) 市民への積極的な情報提供

【法人】市の健康&福祉まつりに参加し、2病院の看護師による健康相談を実施しました。

【府中】看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。また、病院の地元、鶴飼町内会の夏祭りへの出店や、敬老会への参加、地域住民対象の講演会へ職員を講師として派遣しました。

【府中北】上下ひなまつりに病院として出店し、血压測定や健康相談、ゲームなどで地域との交流を図りました。

【法人】市の広報に、それぞれ年4回、2病院の紹介記事を掲載しました。
病院広報誌の発刊数【法人】1回

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

【法人】理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。

【府中】院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を、毎週定例で開催しています。

【法人】府中市民病院は、J A広島厚生連の出向職員から法人職員への移行期であり、2病院間での職員異動は、一部の部署のみになりました。

【府中・府中北】毎月の幹部会議で、経営状況の共有を図りました。

【府中】各部署の積極的な取組みを発表する「元気になる KAIZEN 発表会」を開催しました。

2 職員教育体制の充実

【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。

区分	府中市民病院	府中北市民病院
医師	23	10
看護師	106	38

医療技術員	83	9
事務職員	28	34
合計（延人数）	240	91

【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しています。

広島県の「チームケア推進モデル事業」を実施し、多職種連携推進研修会でその取り組みを発表しました。

3 事務職員の育成

【法人】事務職員については、法人採用の職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っているため、今後は特に計画的な採用・育成が必要になります。

※事務職員の内訳（総務・人事・医事）の内訳

職員区分		H25.4	H26.4
府中市民病院	法人	6人	6人
	府中市	3人	3人
府中北市民病院	法人	1人	1人
	府中市	4人	3人

4 働きやすい職場環境の整備

【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。

【府中】本館2階の空きスペースを改修し、院内託児所の施設整備を行いました。運営については府中市と協議し、平成26年度中の開所を予定しています。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

【法人】法人の経営成績は、2病院の合計で106,838千円の赤字決算となり、経常収支比率は97.1%でした。

収益目標は達成しましたが、市からの繰入金の前年度比較で50,000千円減の440,000千円（当初：380,000千円、追加：60,000千円）であったことと、病院機能を維持するための経費がかさんだことで、黒字決算の目標は達成できませんでした。

※経営成績（繰入金を除く）

	前年度	25年度
府中市民病院	▲154,572千円	▲237,781千円
府中北市民病院	▲291,939千円	▲309,000千円
法人全体	▲446,511千円	▲546,781千円

指標

項目	府中市病院機構		
	目標値	実績値	増減
経常収支比率（経常収益／経常費用）（％）	100.6	97.1	▲3.5
医業収益比率（医業収益／医業費用）（％）	89.0	84.6	▲4.4
給与費比率（給与費／医業収益）（％）	69.7	73.1	3.4
医業収益（百万円）	2,949	3,043	94
入院収益（百万円）	1,580	1,655	75
外来収益（百万円）	1,119	1,148	29

※経常収支比率は、府中市からの繰入金を算入後の数値です。

2 収益の確保及び費用の節減

【府中】 医事課では、査定を減らす取り組み、外来未収を減らす取り組みを強化しました。今年度、病院内で開催された「元気が出る KAIZEN 発表会」で、この医事課の取り組みは最優秀賞を受賞しました。

【府中】 総務課は、委託契約の見直しにより、年間約 300 万円のコスト節減を図りました。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

【法人】 市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計を完了し、H26年度から工事に着手します。

【法人】 新病院の機能として、地域包括ケアの推進体制について市と協議し、その具体案を設計に盛り込みました。

【法人】 新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後も投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意します。また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めます。

2 医療機器などの更新

【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しました。決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。

本年度の投資的経費は、78,954千円で、目標限度額128,000千円の範囲内としました。

内訳	投資額
府中市民病院	20,290千円
主な購入機器	全自動血液凝固測定装置（検査科） 全自動糖分析装置（検査科） 終夜睡眠時ポリグラフィ検査機器（検査科） 血管アクセス用超音波診断装置（内科） サージレックスエンシールシステム（外科） 産婦人科検診台（産婦人科） 超音波画像診断装置（産婦人科） 薬用冷蔵ショーケース（薬局）
府中北市民病院	58,664千円
主な購入機器	人工透析装置一式（透析室） 鼻咽頭ビデオスコープ（耳鼻咽喉科）

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成25年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

1 予算

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	3,318	3,478	160
医業収益	2,949	3,049	100
運営費負担金	250	290	40
運営費交付金	108	128	20
その他医業収益	11	11	—

営業外収益	36	37	1
運営費交付金	22	22	—
その他医業外収益	14	15	1
資本収入	68	80	12
長期借入金	68	76	8
その他資本収入	—	4	4
計	3,422	3,595	173
支出			
営業費用	3,150	3,436	286
医業費用	3,144	3,430	286
給与費	2,056	2,225	169
材料費	508	542	34
経費	571	654	83
研究研修費	9	9	—
一般管理費	6	6	—
営業外費用	35	35	—
資本支出	199	220	21
建設改良費	67	88	21
長期借入金返還金	132	132	—
計	3,384	3,699	305

2 収支計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
収益の部	3,387	3,536	149
営業収益	3,351	3,499	148
医業収益	2,949	3,049	100
運営費負担金収益	250	290	40
運営費交付金収益	108	128	20
その他医業収益	11	11	—
資産見返物品受贈額戻入	33	21	▲12
営業外収益	36	37	1
運営費交付金収益	22	22	—
その他医業外収益	14	15	1
支出の部	3,368	3,642	274

営業費用	3,333	3,607	274
医業費用	3,327	3,601	274
給与費	2,056	2,225	169
材料費	508	542	34
経費	571	654	83
研究研修費	9	9	—
減価償却費	172	170	▲2
資産減耗費	11	1	▲10
一般管理費	6	6	—
営業外費用	35	35	—
臨時損失	—	—	—
純利益	19	▲106	▲125
目的積立金取崩額	—	—	—
総利益	19	▲106	▲125

3 資金計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
資金収入	3,687	3,858	171
業務活動による収入	3,354	3,515	161
診療業務による収入	2,949	3,049	100
運営費負担金、交付金による収入	380	440	110
その他業務活動による収入	25	26	1
投資活動による収入	—	14	14
その他投資活動による収入	—	14	14
財務活動による収入	68	76	8
長期借入による収入	68	76	8
その他財務活動による収入	—	—	—
前年度からの繰越金	265	253	▲12
資金支出	3,676	3,858	182
業務活動による支出	3,124	3,450	326
給与費支出	2,001	2,222	221
材料費支出	508	542	34
その他業務活動による支出	615	686	71
投資活動による支出	68	88	20

有形固定資産の取得による支出	68	88	20
その他投資活動による支出	—	—	—
財務活動による支出	132	132	—
長期借入金の返済による支出	—	—	—
移行前地方債償還債務の償還による支出	132	132	—
次期中期目標の期間への繰越金	352	188	▲164

第6 短期借入金の限度額

該当なし

第7 剰余金の使途

平成25年度決算では、剰余金は発生しませんでした。

監査報告書

地方独立行政法人府中市病院機構

理事長 多田敦彦 様

私ども監事は、地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項の規定に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第2期事業年度の業務及び会計について監査を行ないました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

私ども監事は、理事会その他重要な会議に出席する外、両監事で定めた業務の分担により、地方独立行政法人府中市病院機構監事監査規定に従い、理事長等から業務運営の報告を聴取し、重要な文書を閲覧する等により業務及び財産の状況を調査し、事業報告書、財務諸表及び決算報告書につき検討を行いました。

また、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等に関して、理事等から報告を求め、その有無を調査いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表及び損益計算書は、法令等に従い、法人の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) キャッシュ・フロー計算書は、法令等に従い、各活動区分に従って法人のキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 利益の処理に関する書類（案）は、法令等に適合し、かつ、法人財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (5) 行政サービス実施コスト計算書は、法令等に従い、業務運営に係るコストの状況を発生原因ごとに正しく示しているものと認めます。
- (6) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (7) 決算報告書は、法令等に従い、予算区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。
- (8) 理事の業務遂行に関しては、不正の行為または法令等に違反する重大な事実はありません。

なお、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等についても理事の義務違反は認められません。

平成26年6月24日

地方独立行政法人府中市病院機構

監事 浅田勝彦



監事 岸田光弘

